

「里山資本主義」真庭の挑戦

Maniwa

真庭市長 太田 昇

真庭市役所本庁舎は、
木（バイオマス発電の電気とバイオマスボイラーの熱）
太陽（敷地内の太陽光発電）
人で動いています。

真庭市役所本庁舎は、
地域由来の再生可能エネルギーを
100%使用しています。

- ・Co2削減量：420t
- ・電気代等削減費用：600万円
（重油（86円/L）使用比較）





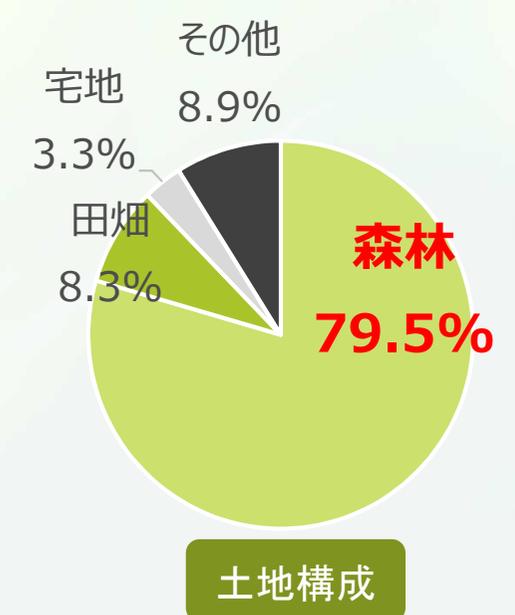
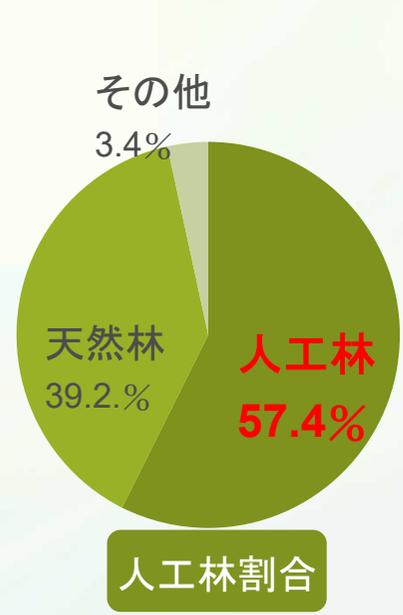
◆真庭市のプロフィール

場所：岡山県の北部

面積：約828km²

人口：約4.5万人

特徴：土地の約8割が森林
日本有数の木材集散地

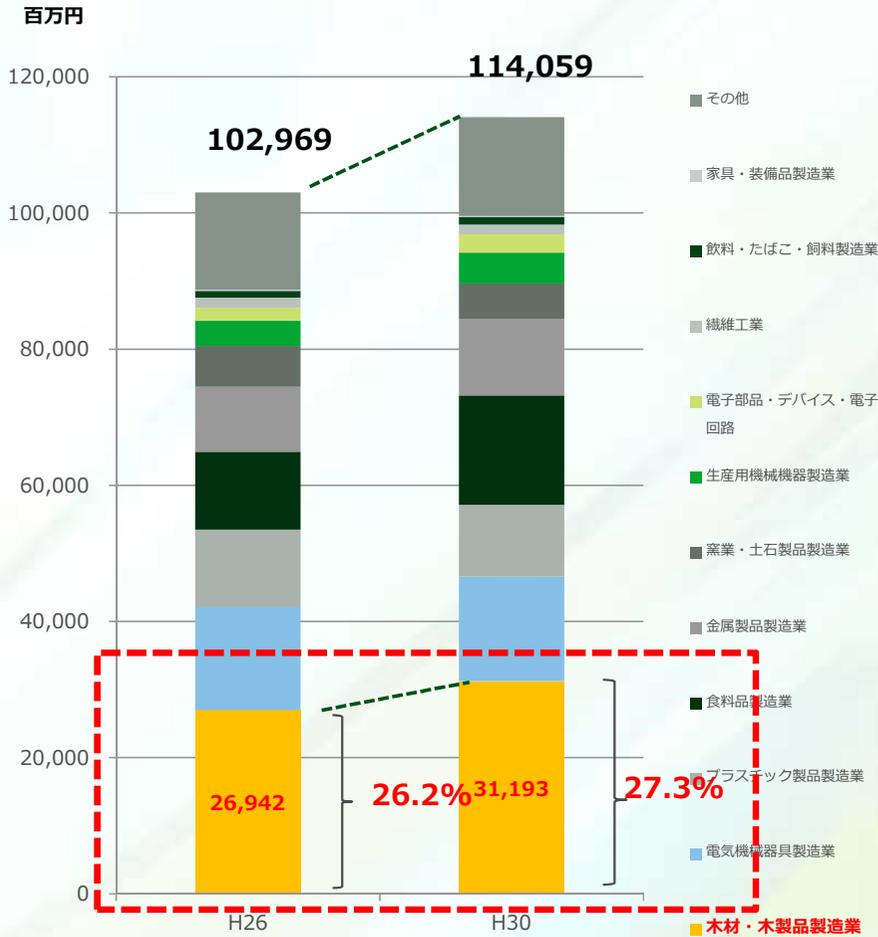


2 木材の街：真庭—木材を中心とした経済—

○真庭市の製造品出荷額の約3割
(312億円) は木材・木製品製造業

○木材の市場が複数あるなど、バリューチェーンが市内で完結。日本国内では、**全国有数の木材集散地**として有名

真庭市の製造品出荷額等の推移



出典：工業統計調査



素材生産業者：約20社
従事者数：約240人
(平均年齢40歳台)



原木市場：2社3市場
取扱量：約13.8万m³/年
(岡山県の取扱量(41万m³/年)の約1/3)



製材所：約30社
(原木丸太仕入れ量：約20万m³/年)
(製材品出荷量：約12万m³/年)

製品市場 1市場



木質バイオマス発電所(稼働中)：2機
真庭バイオマス発電所(10,000kw)
銘建工業所有発電所(5,000kw)

3 木を使い切る真庭（木質バイオマス発電所を中心とした循環経済圏）

- 真庭バイオマス発電所を中心に、地域から出る木材を余すことなく使い切る循環経済圏の構築を実現
- 今まで産業廃棄物として処理（処分費相当1億円以上）していた未利用の木材を燃料として活用

【木質バイオマス発電所】



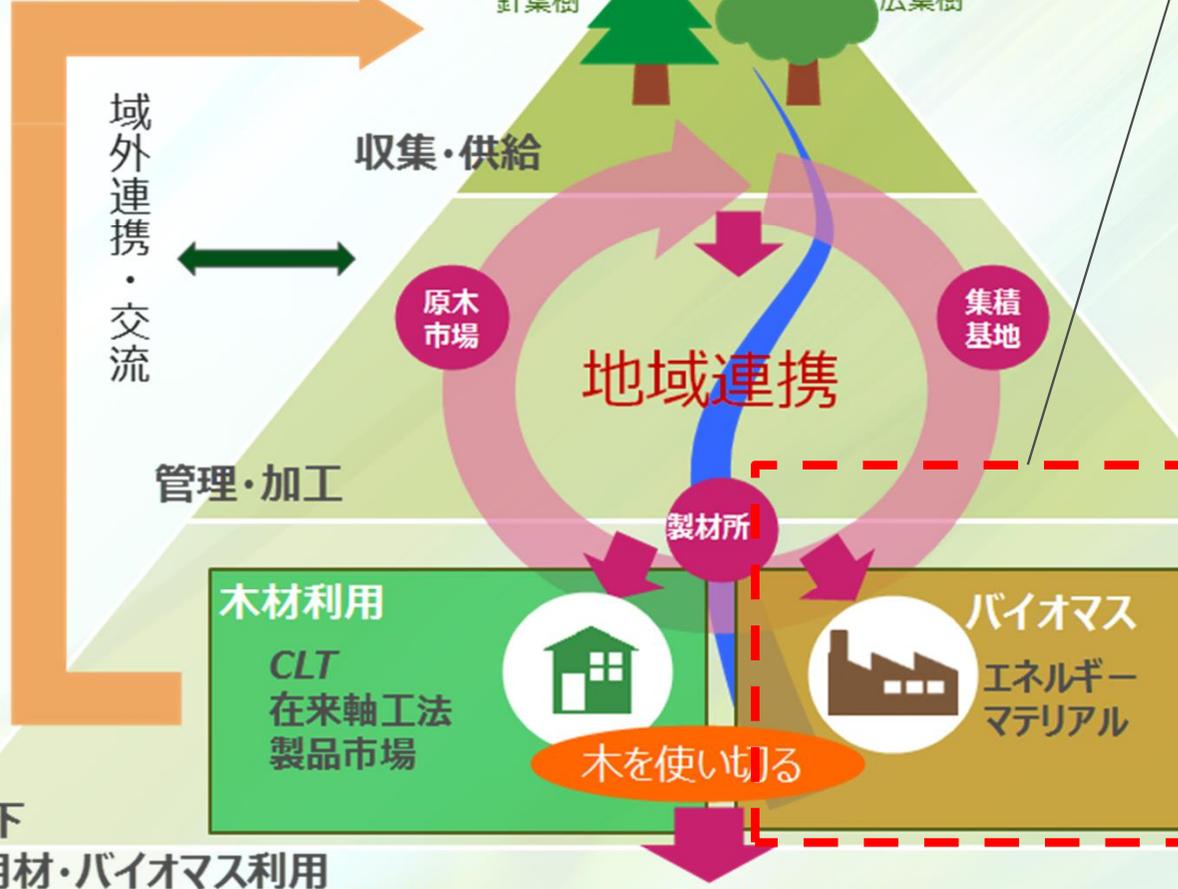
- 発電能力：10,000kW（年間発電量約8万MWh）
- 使用燃料は、年間11万t程度。原則として地域から出る木材のみ活用。
- 山林所有者に燃料代の一部を還元（550円/t）する仕組みを構築

売上：約23.1億円（燃料購入14.2億円）

石油代替：23.5億円相当

※灯油価格84円/lで算出

川上
利益還元・分配



地域産業の発展、雇用創出、地域力の向上

2024年稼働予定



生ごみ等資源化施設 (イメージ)

処理能力：33,000kl/年
液肥生産：8,000トン/年

家庭の生ごみなどをメタン発酵させ
液体肥料として再生、資源の
地域内循環を目指します

① 燃えるごみを約40%削減



ごみ処理のエネルギー・コストの低減

② 年間約8,000トンの液体肥料として再生



脱炭素・低コスト農業の実現

ごみ処理施設の統合、生ごみの資源化で脱炭素社会に貢献

可燃ごみの約30~50%を占める生ごみを資源化、
ごみの焼却量を減らし、市内の廃棄物処理施設を
整理・統合、効率的なごみ処理で脱炭素を実現します



温室効果ガス削減効果
2,113トン/年

6,700トン → 4,587トン
可燃ごみ焼却を減らすことで大幅減
(真庭市試算)

ごみ焼却施設 3カ所 → 1カ所に統合
し尿処理施設 1カ所 → 生ごみ等資源化施設新設

(生ごみ、し尿、浄化槽汚泥をメタン発酵させ液体肥料に再生)

中山間地域の新たなごみ処理方法に!!

中山間地域では「燃やす」より「減らす・活かす」へ

- ・効果的な高効率ごみ発電には、100トン/日のごみが必要。
- ・100トン/日のごみを集めるには中山間地域ではエリアが広大になりすぎ。
- ・中山間地域ではごみを減量化し、コンパクトな焼却処理が効果的。
- ・燃えるごみの30~50%を占める生ごみを燃やさずリサイクル。

【参考】

- ・一般的な高効率ごみ発電設備 日処理量150トン CO2削減量3,000~4,000トン/年
- ・例)A市 日処理量150トン CO2削減量3,653トン/年
- ・例)B市 1市4町で高効率ごみ発電施設整備 1町：1,282km² (東京23区の2倍)

5 GREENable HIRUZEN

(SDGs 未来杜市「真庭」の新たなランドマーク)



真庭産材を使い
真庭でCLT製造



【蒜山⇔晴海プロジェクト】

■ 2019年

隈研吾事務所のデザインにより、晴海で真庭で製造されたCLTを使用し、CLTパビリオンを建築

→CLTの魅力と木材の文化・情報を発信

真庭産CLTの里帰り



真庭に移築リユース

■ 2021年

晴海での役目を終えたパビリオンについて、部材をリユースし、岡山県真庭市の国立公園蒜山（ひるぜん）に移築。

都市と農山村を結びつける観光文化発信拠点「GREENable HIRUZEN」として、新たに本年7月15日にオープン。

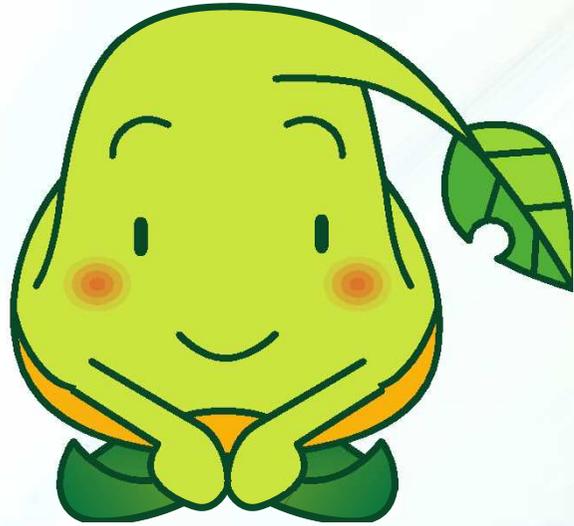
12月末までに累計13万人程度が来場（若い女性が多く来訪）。



晴海で建築・運用
(2019年秋～2020年秋)



ご清聴ありがとうございました。



真庭市キャラクター
「まにぞう」



(蒜山高原)



(勝山のれんの街)



(落合・醍醐桜)



(北房ほたる)

真庭市役所

〒719-3292 岡山県真庭市久世2927-2

TEL ; 0867-42-1111

URL ; <https://www.city.maniwa.lg.jp/>